

【熊本 SJCD 例会 抄録】

演 題 **審美領域におけるフルジルコニアクラウン**

演者名 **森田圭介**

日付 2017年2月28日

keyword

1. フルジルコニア
2. ステイン法
3. レイヤリング法

【抄録】

昨今、歯科用 CAD/CAM システムの進化とともに加速的にその臨床応用が進み、現在では、担当させて頂くほとんどの症例がジルコニアといっても過言ではないほどまでになってまいりました。さらに、その物性においても日々変遷しており、近年は高透過性ジルコニアの普及に伴いモノリシッククラウン（フルジルコニアクラウン）において高い審美性を要求されるケースも増えてまいりました。フルジルコニアの審美領域への応用は今後増加していくものと考えられます。

私達、歯科技工士もこの変化に沿ったスキルの習得が求められますが、同一症例の試みとして、上顎左側中切歯をフルジルコニアとレイヤリングとで比較できる機会を得ましたので、報告させていただきます。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い致します。 諸先生方の忌憚のないご意見を頂き、今後の自分の臨床に生かしていきたい。